

# べっぴん 市議会だより

No.21 平成7年11月1日

編集 市議会だより編集委員会

発行 別府市議会

〒874 別府市上野口町1-15

☎0977-21-1111



市民スポーツ 広がる秋空  
ゴールめざして ヨーイドン



## 温泉プールの解体工事など補正予算を可決

9月定例会は、9月8日から22日までの15日間の日程で開かれました。

9億8千6百50万円を追加する一般会計補正予算などをはじめ、条例の一部改正など、市長提出議案23件の審議が行われ、すべて原案のとおり可決されました。また、6年度水道事業会計決算の認定については原案のとおり認定され、6年度一般会計・各特別会計決算認定案件については、閉会中も引き続き継続して審査することに決まりました。

議員から、水力発電施設周辺地域交付金の交付期間の延長を求める意見書案など2件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

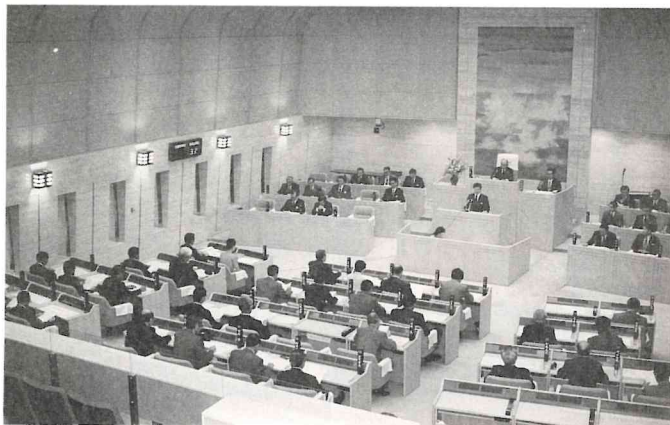
### 主な内容

主な議決……P2～3

議案質疑……P4

一般質問……P5～7

その他……P8



9月定例議会風景

# 主 議 な 決

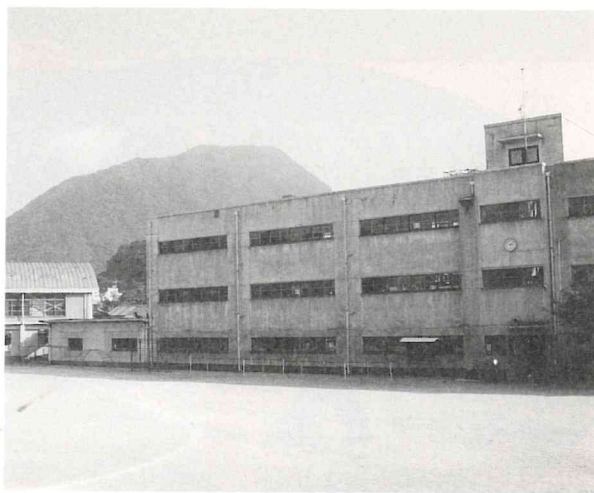
## 決算特別委員会を設置

九月定例会では、予算や条例案件など十六議案が提出され、市長の提案説明に対する質疑の後、所管の常任・特別委員会へ付託されました。これらの議案は、最終日に、所管の委員長より審査の結果について報告がなされ、表決の結果、可決が十四件、認定が一件、そして、一件が継続審査となりました。議決された主な内容は、次のとおりです。

## 補正予算

◎平成七年度一般会計補正予算  
(第二号) (原案可決)

収入に、前年度繰越金など九億八千六百五十万円を追加し、また、支出の主な内容として、民生関係では、リフトバス及び巡回入浴車などを購入し、商工関係では、商工振興の一環として、小規模企業経営改善普及事業及び商業活性化事業に対する補助金を、住宅関係では、住宅需要などを反映した市営住宅の建替えを効



耐震診断を実施する浜脇小学校

率的に行うため、市営住宅総合再生計画策定委託料を、教育関係では、教育用コンピュータの整備に要する経費を、旧耐震基準などによって建築された校舎などの耐震診断に要する経費を、また老朽化が著しく、放置すること自体危険性を有するため温泉プールの解体工事などに支出しようとするものです。

◎平成七年度各特別会計(国保事業競輪事業、公共用地先行取得事業、公共下水道事業)補正予算

(原案可決)

国の補助事業により、国民健康保険事業では、国民健康保険税の適正賦課、収率の向上及び医療費適正化特別対策事業を、公共下水道事業で

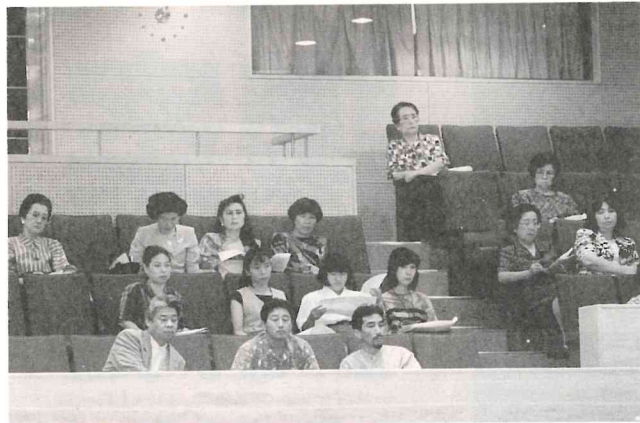
## 九月定例会 会期の経過

|      |                                          |
|------|------------------------------------------|
| 六日   | 議会運営委員会                                  |
| 八日   | 本会議<br>(議案上程、提案理由の説明)                    |
| 十日   | 本会議<br>(議案質疑、委員会付託)                      |
| 十一日  | 本会議(一般質問)                                |
| 十三日  | 本会議(一般質問)<br>議会運営委員会                     |
| 十四日  | 本会議(一般質問)<br>議会報編集委員会                    |
| 十五日  | 各常任委員会                                   |
| 二十日  | 特別委員会<br>議会運営委員会                         |
| 二十五日 | 本会議<br>(上程中の全議案に対する各委員長報告、少数意見の報告、討論、表決) |

## 条例の一部改正

は、北浜中継ポンプ場改築工事及び終末処理場建設工事に伴う設計委託などに支出しようとするものです。

◎別府市営体育施設並びに市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部



審議を見つめる傍聴の方々

改正について (原案可決)

◎別府市使用料の徴収に関する条例の一部改正について (原案可決)

温泉プール及び既設の市営住宅の一部を廃止するのに伴い、条例を整備しようとするものです。

◎別府市手数料条例の一部改正について (原案可決)

ホームヘルプサービス事業用負担基準の改定に伴い条例の整備をしようとするものです。

◎恩給等の年額の改定に関する条例の一部改正について (原案可決)

恩給法等の一部を改正する法律に基づき、恩給等の年額の改定に関する条例を整備しようとするものです。

## 人事

次の人が、固定資産評価審査委員に、全会一致で同意されました。

○別府市固定資産評価審査委員会委員の選任について

藏前 和己 氏 (再任)

市内亀川中央町 6 番 21 号

徳田 靖之 氏 (再任)

市内野口中町 7 番 32 号

## 意見書

議員より意見書 2 件が提出され、次のとおり表決されました。

可決された意見書は直ちに関係機関へ送付されました。

(原案可決)

○中国・フランスの核実験に抗議し、核実験の即時中止を求める意見書

(8 頁に全文掲載)

○水力発電施設周辺地域交付金の交付期間の延長を求める意見書

## その他

◎訴えの提起について

(原案可決)

市営住宅の家賃滞納者に対する滞納家賃などの支払及び住宅明渡請求をしようとするものです。

◎旧慣による公有財産についての権

利を廃止することについて

(原案可決)

野田川砂防ダム事業に伴う旧慣使用権を廃止しようとするものです。

◎工事請負契約の締結について

(原案可決)

温泉総合整備事業(南部・堀田ルート) 泉源施設機械電気計装及び中央監視設置工事の契約を締結しようとするものです。

## 決算

◎平成六年度別府市水道事業会計決算の認定について (認定)

地方公営企業法に基づき、監査委員の意見を付けて決算の認定をしようとするものです。

◎平成六年度別府市一般会計及び各特別会計決算の認定について

(継続審査)

九月十四日、決算特別委員会が設置され、一般会計・各特別会計歳入歳出決算の認定について、閉会中も継続して審査しようとするものです。

(◎委員長、○副委員長)

◎浜野 弘 ○富田 公人

堀本 博行 加藤久美子

田中 祐二 後藤 健介

井田 逸朗 行部 弘文

梶原九州男 三ヶ尻正友

本田 行男

## 傍聴のご案内

◆本会議はどなたでも傍聴できます。

◆お気軽に議会棟 4 階へお越し下さい。

◆次の定例会は 12 月上旬に予定しております。





建物の取り壊しが決まった温泉プール

# 議案質疑

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。

九月十一日に十一名の議員が行いましたが、主な質疑二件について掲載します。

## 温泉プールの解体工事について

**問** 今回、旧温泉プールの解体工事が計上されているが、意思決定に至った経過及び跡地利用の基本的な考え方について説明願いたい。

**答** 一時、再利用の方向で検討した経緯もあるが、耐用年数も超過しており、改修、補強しても十年程度しか持たないのではとの観点などからそのために巨費を投じることは非常に問題がある。また、再利用する場合において駐車場スペースが狭く、利用的立場からして非常に無理がある。さらに、当該地が青少年の非行のたまり場にもなっていることなどの理由から、旧温泉プールの建物を取り壊すことに行政として判断した。跡地利用については、各種団体の代

表者、地区住民のご意見を十二分に尊重しながら今後熟慮したい。

**問** 跡地利用対策特別プロジェクトチーム等を編成し、将来別府市に、禍根を残すことのないよう多角的な見地から企画、立案し本事業の成功を図っていただきたい。

## 鉄骨構造としての耐久価値は

**問** 今回の取り壊しの最大の理由は建物自体の老朽化による判断に立ち至ったものであると思うが、事前に構造的、工学的な鑑定を行ったのか。また、温泉プールの鉄骨構造が本当に価値あるものとするならば市民の大切な財産、後世への遺産として、もっと慎重に取り扱うべきと思うがどうか。

**答** 昭和六十年に別府市営温泉プール耐震診断を行い、それをもとに、平成五年時点で構造診断をした経緯がある。また、建物の鉄骨は確かに特殊な組み方で価値があると思うがかなりの腐食が進んでおり、危険性の度合いを重視した結果、取り壊すことの結論に至った。

**問** いずれにしても、今回の解体をするに当たっては、一度専門家のきちとした判断を仰いで、慎重な対応をされるよう要望する。

## 温泉総合整備事業について

**問** 今回の契約案件、四億六千九百万円の事業内容について説明願いたい。また、本事業は将来的に中央監視室を設けてコンピューターシステムでの管理を行うとのことであるが、その設置箇所及びいずれの源泉と何ヶ所を装置で接続するのか。

**答** 南部ルートは、鶴見園第一源泉を、堀田では、源泉三ヶ所の施設に対し電気の計装を実施するための工事内容である。中央監視室は、市役所の温泉課事務室隣を考えている。システムの接続箇所は、南部ルートで六ヶ所及び堀田の源泉と水源に装置を設置したい。

**問** 給湯管の敷設がえ、湯量確保の問題を解決することが先決であり、制御システムのみが先走りすると事業の推進自体に無理が生じる恐れがあるのでないかとの不安を感じざるを得ないが。……

**答** 湯量の確保については、本年五月と八月の二回にわたり調査を実施し、減少傾向との結果を得たため、今後とも湯量、水については内部で種々方策を検討し、確保に最大限努めてまいりたい。

# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。九月十二日から十四日までの三日間市が当面する諸問題について十七名の議員が市当局の見解を質しました。主な内容は次のとおりです。

|       |       |
|-------|-------|
| 堀本 博行 | 加藤久美子 |
| 田中 祐二 | 高橋美智子 |
| 山本 一成 | 井田 逸朗 |
| 行部 弘文 | 富田 公人 |
| 小林健一郎 | 佐藤 岩男 |
| 中村 正三 | 岩男 三男 |
| 原 克実  | 首藤 正  |
| 本田 行男 | 白石 昇  |
| 村田 政弘 | (議席順) |

## 町内表示で わかりやすい町づくりを

**問** 別府市の住居表示は、約四〇％で六〇％の町には町内表示がなく大変分かりにくい。市費で補助するかスポンサーの協力を得て、何町、何組と表示して分かりやすい町にせよ。また、市営住宅にも住宅名が表示さ

れていない。町名と住宅名を住宅のカベに表示してほしい。

**答** 分かりにくい町である事は十分理解している。早急に町内表示が実現できるよう取り組む。市営住宅については、さっそく住宅名を書き分かりやすい町づくりに取り組む。

## 各種基本構想について

**問** 美術館、地球博物館、情報図書館、温泉博物館、地獄ミュージアムの五つの基本構想の今後の取扱いについて。

**答** それぞれの基本構想が共通した部分を持つので、それらの整合性をはかり、市の財政状況や市民の要望を加味して優先順位をつけながら、建設するか、見直しするかを慎重に

協議したい。

## 別府駅・銀座等 緊急豪雨対策を

**問** 一昨年の台風十七号や昨年の豪雨に続き、今年もまた七月二十二日に集中豪雨が発生。別府駅では通勤客や観光客は膝まで浸る状況となり駅南北名店街や各銀座街など床下浸水等の被害を受けた。過去の議会で再三指摘してきたが、これ以上の対応の遅れは人災としてとらえられかねない。緊急対応すべきだ。



集中豪雨が心配の別府駅周辺

**答** 今日まで抜本的な解決策に至っていない。このため別府公園よりの流出水を青山小学校東側の暗渠（排水等のため地下に造った水路）へ接続し朝見川への導水工事を進める。

## 災害時の井戸水の 利用について

**問** 今年一月に発生した阪神淡路大震災では被災市民の飲料水として、西宮市の酒屋の井戸水が大変役にたったと聞いている。別府市にも多くの井戸があるので、この調査と枯渇した井戸については手入れをすれば再生するので、復旧に伴う補助金の支出を考えたらどうか。

**答** 今後関係課と協議し、井戸の現況調査及び復旧費の補助について検討します。

## 楠港跡の埋め立て地の 活用について

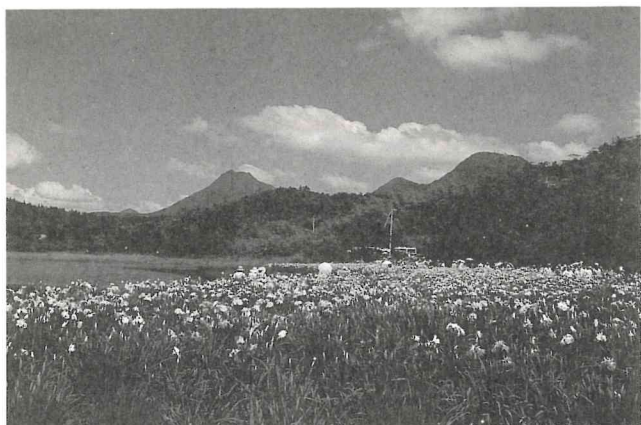
**問** 楠港跡の埋め立て地の利用は、その後の経過はどうなっているか。

**答** 現在二件の企業より引き合いがきているがその施設内容がまだ明確でない。知事に平成五年に陳情したように、ハイグレードな宿泊機能をもった複合施設がベターであり、し

かも回遊性のある施設が望ましい。当初の方針通り、別府の核となる複合的な宿泊施設の誘致実現に努力していく。

## 神楽女湖花菖蒲と 図書館の充実

**問** 神楽女湖の花菖蒲は余りにも有名になりすぎた。在来の有名品種もどの株がどの花なのかも判然としない。新しい株を購入してラベルを付ける。アヤメを植え、カキツバタを植えて花菖蒲との見分けをする。内容の充実した神楽女湖の花菖蒲を作って別府新種でも作ったらどうか。



観光客を楽しませる神楽女湖の花菖蒲

今後、図書館の充実をどのように考えているか。

**答** ご指摘のとおり、立派な菖蒲園とする事をお約束します。

来年度、図書館全国大会が別府市で開かれます。それに向けて機能の充実をはかりたい。

## 山家地区

### 高架線について

**問** 高架線の内側（山家側）に待機の手はカーブミラーを通して、信号機の確認が出来ないので予備信号の設置を、夜間は高架線内に照明を設置するよう要望する。

**答** 現地調査のうえ、改善をする。

**問** 老人給食サービスは現在週二回の実施を毎日の昼食に拡大してはどうか。

**答** 岐阜市が毎日の昼食と夕食を実施しているという事なので、調査のうえ検討して参りたい。

## 光時計の今後と テルマスの今後

**問** 別府公園の光時計は、照明学会から照明普及賞を受賞している。これを契機に土日以外もライトアップしてはどうか。



大型温泉施設テルマスの今後

**答** 入園者の推移をみながら検討したい。

**問** 大型温泉施設テルマスをこのまま放置することは、市民、観光客に大きなマイナスイメージを与える。配湯している所の供給量が契約量よりずっと多い所をチェックし湯量を確保して早急にオープンすべきである。

**答** 職員も一生懸命取り組んでいる。

## 公立幼稚園 保育年限延長について

**問** 国の施策として三年保育が示され、関係者の要望も強くあるのに、

別府市は今だ二年保育すら未達成なのはなぜか。又、公立、私立を平等に保護者が選択できる場をつくるべきだし、関係者との話し合いや、調査園を試行することについてたず。

**答** 関係者と三年保育について話し合ってきた。公立と私立の関わりや園児減少などの問題があり、地域の実情に応じて保育年限の延長には、慎重に対応していく、引き続き検討課題とし、関係者との話し合いを今後とも進めていく。

## 中国・フランスの 核実験に抗議を

**問** 中国とフランスが核実験を強行したことに深い怒りをもって糾弾する。国際世論は怒りにあふれており日本国内でも抗議の声があいついでいる。別府市議会も抗議と即時中止を求める意見書を全会一致で可決したが、市長は態度を明かにしていないが今こそ市民の前に明かにすべきではないか。

**答** 核実験に反対する世論の高まりの中で、実験が強行されたことは誠に遺憾であり、全国市長会としても会長名で実験の即時中止と核廃絶を求める抗議文を外務省宛てに提出した。

## 財政・観光問題に ついて

**問** 別府市の公債比率のピークが平成十年で一五%前後と見られるとの答弁が井上市政一期目の厳しさが明々白白であります。市民のニーズに答えなければならぬので事業の推進にも十分内部討議して選択すべきことを強調しました。

また、観光問題に於いては大型温泉館テルマスのオープンに向かって最大の努力を要望、当局の確約を得た。更に、菖蒲園の再興について土質改良等の必要性について強調、当局も努力を約束。

## 各地域に

### 児童館の設置を

**問** 本年度から小・中学校の月二回週五日制が実施された。近い将来完全週休二日制も予想される。また、一方、非行、いじめ、不登校、自殺も深刻な問題となっている。学校での部活、校外でのクラブ、サークル等もやられているが、この中には、しごき、しめつけ、勝負に勝つことのみを目的とした大人の管理が強いもの、のびと学び遊べる「児童館」の



学校の放課後 元気に遊ぶ児童たち

建設を急ぐべきではないか。  
**答** 児童福祉法で児童館は、児童厚生施設として規定されている。余裕教室の有効利用と合わせて検討したい。

### 福祉給食施設を 温泉プール跡に

**問** 自宅に配達する給食サービス事業について市独自のものと来年度併設される特別養護老人ホームの給食サービスとは、自己負担に差額が生じる。当局は平等な扱いをせよ。  
当市の保健婦の人員は、他市と比較し少なすぎる。早急に増員せよ。

温泉プール跡地に福祉給食センター、児童館、託老所等の設置を。

**答** デイサービスで行う給食サービスは、実施要綱に基づき材料費の実費はいただく。保健婦の増員計画は今後、条件整備を行いさらに検討を加えていきたい。

### はり・きゅう・マッサージ 施術費補助金について

**問** はり・きゅう・マッサージ施術費補助金については、国民健康保険条例第七条の規定により保健事業として被保険者の健康保持増進を目的に昭和四十九年四月一日より事業開始しています。現在は国保加入者がはり・きゅう・マッサージの治療をうける場合、国民健康保険課が発行する補助券一回に六百五十円、年間四十八枚を、一回に千円、年間六十枚に引き上げるよう求める。

**答** 補助金の改定については、厳しい状況であります。前向きに検討していきたい。

### 鉄輪の街づくりと 利用交通手段

**問** 観光地としてのグレードをあげるには、街の整備は不可欠であるし

また、利用交通手段の検討も急がれる。昨今、市の考えをお聞きしたい。

**答** 観光客に対するもてなしの意味からも、大谷公園のトイレ等、充分見直したい。また、道路の整備も住民の意向をとりいれてやりたい。鉄輪地獄公園地帯整備事業や鉄輪レストハウスの有料トイレの問題、横断道路の中央分離帯の美化等も、関係者と充分協議したい。各交通機関との連絡調整は今後、さらに必要となるので、検討したい。

### 緊急通報システムの その後

**問** 緊急通報システム事業の現状について、お聞きしたい。

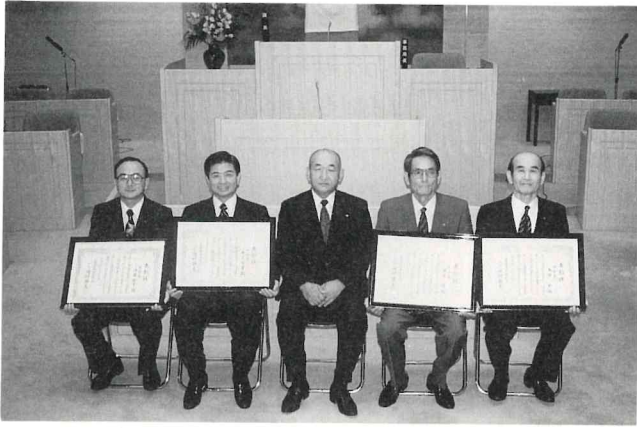
**答** 平成三年度事業開始以来、現在までに三百六十七台を設置しており今後とも普及に努めたい。

**問** 当初予定では三ヶ年で七百台の目標との説明であった。目標に達しなかった要因は、設置にあたっての許可条件が厳しすぎるのでは。県下の他市町村においては年齢制限、課税対象者、居住年数などの基準を設けず、さらに高齢者夫婦、障害者等にまで対象範囲を広げて事業推進をしている。見習うべきである。

## 全国議長会から 特別表彰

去る六月二十八日開催の全国市議会議長会定期総会において、永年にわたり市政の振興に貢献された功績により、本市議会から、朝倉斉議員、矢野彰議員、井上信幸市長（前議員）、伊藤敏幸議員の四人が議員在職二十年以上の特別表彰を受賞しました。

六月定例会の初日に、本会議場で議長から表彰状の伝達式が行われ、別府市より記念品が各議員に贈呈されました。



写真の右から 矢野彰議員、朝倉斉議員、内田議長、井上信幸市長、伊藤敏幸議員

## 全国各市から 行政視察で来庁

四月から九月までに別府市議会を訪れた議員の視察研修は三十一市（二九七名）で昨年度（同月比）とほぼ同数です。このうち約八二％の視察団が別府に宿泊しました。

地域別に見ますと、関東地域の各市が一番多く、次いで関西、中部、東北の各市となっています。遠いところでは北海道からも訪れています。視察目的は、①駅前シンボルロード整備事業②ビーコンプラザ③ごみ・リサイクルについて④フラワーシティ別府の順となっています。



執行部より説明を受ける視察団

## 九州議員野球大会 本年も出場

去る八月二日、唐津市において第31回九州市議会議員野球大会に出場し、一回戦で強豪福岡市と対戦し、同点により判定戦を行いました。十三対十五で惜敗しました。



別府市議会チーム

## 中国・フランスの核実験に抗議し 核実験の即時中止を求める意見書

わが国は、世界唯一の原爆被爆国として、平和憲法の精神にのっとり『非核三原則』を内外に宣伝し、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を全世界に強く訴えてきた。

この度、中国の核実験に続き、フランスも南太平洋のムルロア環礁で国際世論を無視し、核実験を強行いたしました。この行為は誠に遺憾なことであり、それがいかなる理由に基づこうとも、核による放射能汚染は地球環境と生態系を破壊し、人類の生存を脅かす行為であることは、広島、長崎をはじめスリーマイル島原発事故、チェルノブイリ原発事故等による被害の実態から明白であります。さらに両国の核実験は、核保有国の核実験の自制を求めている国際世論に逆行し、全面核実験禁止条約交渉に悪影響を及ぼしかねません。昭和六十年に『非核平和都市』を宣言しております当市議会といたしましては、核兵器廃絶への不断の努力を行うことを誓い、中国及びフランスの核実験に厳重に抗議し、両国の即時核実験の中止を強く求める。

よって、政府におかれましては、当市議会の主旨が伝わるよう中国・フランス両国政府に対し、直ちに申し入れられるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条第2項の規定により意見書を提出する。

平成七年九月八日

別府市議会

## お願い

◎政治家が、町内の運動会などにお祝いを出すことは禁じられています。

◎政治家が、年賀状などのあいさつ状を出すことやお歳暮などの贈答をすることは禁じられています。